

# 草思草愛

そうし そうあい

名古屋大学にはおよそ60年にわたり研究・教育用植物を栽培している「野外観察園」があります。1963年に教養部生物学教室の実験園場として造成され、2003年度から名古屋大学博物館が管理・運営を行い、幅広い自然教育に使われています。一方で、野外観察園の存在は「知る人ぞ知る」という面もあるため、名古屋芸術大学と連携し、その魅力を紹介するプロジェクトを立ち上げました。

参加するのは名古屋芸術大学 芸術学部 の、デザイン領域 文芸ライティングコースと芸術教養領域 リベラルアーツコースです。言葉と文章によるデザインによって伝える力を育む文芸ライティングコースの学生たちが、「野外観察園」から発見した魅力や面白さをベースに作品を制作し、社会と芸術をつなげる力や情報を伝達する力を養うリベラルアーツコースの学生たちが、展覧会を構成します。



思いも愛も、ぼくらの目をあわせて観るところから。

タイトルは「草思草愛」(そうし そうあい)。野外観察園には植物(草)を思い、愛している人たちが多く関わっています。

植物の研究に心血を注ぐ名古屋大学の研究者たち、あるいは野外観察園の担当者や博物館の学芸員は、植物を観察することの面白さを学生だけではなく一般の人々にも伝えるため、観察会や展覧会といった活動も積極的に行っています。そうした人たちの思いに触れた学生が、それぞれに自分なりに植物(草)を思い、どのような思い(愛)を持ったのか、展覧会という形で紹介することを考えました。

- 1 『森愛なる林人より』(しんあいなるりんじんより) | 野外観察園の植物のそれぞれの特徴を生かした擬人化キャラクターを生み出します。
- 2 『草ッ食パッド』(くっくぱど) | 野外観察園の植物って食べれるの!? スーパーに置かれている野菜とは違う、野草を食べるという点にフォーカスし、実際に野外観察園から植物を採集し、調理して食べるチャレンジをします。※許可をとって行っています。
- 3 『植物名付け職人への道』 | 植物の名前って不思議だなと思ったことはありませんか? そんな疑問からスタートし、植物をよく観察して形や特徴から名前を考えてみる、参加型の作品です。
- 4 『草ハラッパー』 | 野外観察園にあらわれた、植物の妖精「草ハラッパー」。ラップで植物の魅力を伝えます。チェックラー!
- 5 『野外観察園魅力マップ』 | 学生が野外観察園を見学して気になったことや、見つけたこと、専門家である名古屋大学の教員などから聞いた植物の面白さなどを、野外観察園のマップに落とし込みました。会場で配布します。



## 名古屋大学博物館 野外観察園

1963年、教養部生物学教室実験園場として造成。2003年度から名古屋大学博物館が管理・運営。およそ800種多様な植物が栽培されている。www.num.nagoya-u.ac.jp

名古屋芸術大学 芸術学部 デザイン領域 文芸ライティングコース  
言葉と文章による表現のデザインを根幹に、伝えるための様々な文章表現のスキルを身につけ、文章のプロや作家を目指す。一人ひとりの個性を生かした作品を創作。www.nualwd.info

名古屋芸術大学 芸術学部 芸術教養領域 リベラルアーツコース  
5つの教養(リテラシー)を、「芸術」を軸において深め、既存の枠組みにとらわれない、自由で柔軟な発想をもった、自らを起点として社会に新しい価値を生み出す人材を育成。www.nua-la.jp

## MAP



## 第II期 名古屋大学博物館/野外観察園 ※展示は博物館で実施。

